

稻村眞里 いなかみ 歌人、祝詞研究家。慶應三年十一月八日越後國五京
生れ、昭和二十六年歿（八七—一九六）。號香池園。明治二十六年國學
院本科卒。爾後母校講師、また「國學院雜誌」、高崎正風主宰「彰善
會雜誌」編輯に携はる。大正三年海神社宮司拜命以降、高良神社・二
荒山神社・安房神社等官國幣社の宮司を歴任。祝詞研究及び實作に於
ける第一人者。

歌集「垂穂集」（大正六年一月十日從事會）、國民の祝日「新作祝詞
選集」（昭和二十六年五月二十日京文社）、年中行事「新註稻村眞里詩辭集」
（稻村徳校註、昭和二十九年十二月二十日稻村眞里先生米寿祝賀會）
等がある。

